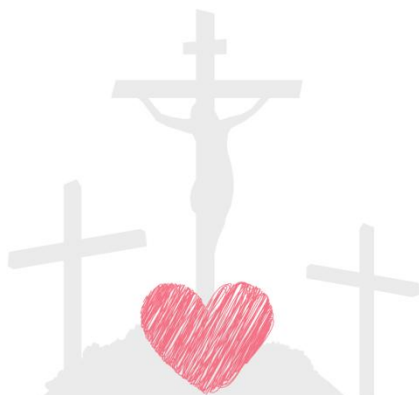


Gospel Series (C)

# あなたの救いのため のキリストの尊い仕え

Christ's Precious Ministry for Your Salvation



JOY CHURCH

## 「キリストがこの世に来られた目的」

マルコの福音書 10:45 人の子も、仕えられるためではなく、仕えるために、また多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのです。

キリスト教の教会には、とても大切な二つの行事があります。一つはクリスマス、そしてもう一つがイースターです。クリスマスはキリストの誕生に関わるものであり、イースターはキリストの死、そしてその後の復活に関わる行事です。

では、なぜキリストの誕生が、これほどまでに大きな意味を持つのでしょうか。これからそのことについてお話ししたいと思います。それは結局、この出来事が、あなた自身と深くつながっているからです。「知らなくてもよいこと」ではなく、「知るべきこと」なのです。もしこれを知らないまま、この世を去ることになったら、大きな後悔をすることになるかもしれません。

なぜなら、死後、絶体絶命の裁きの座に立たされたときに、このキリストの助けと、罪の赦し、そして弁護が必要になるからです。ヘブル人への手紙 9

章 27 節には、「人間には一度死ぬことと、死後に裁きを受けることが定まっている」と記されています。

それでは、なぜ神であるキリストが、人間として生まれなければならなかったのでしょうか。

先ほど読んだマルコの福音書 10 章 45 節にあるように、キリストは人に仕えるために、この世に来られました。本来、神として人に仕えられるべきお方であるにもかかわらず、その神ご自身が人のからだを取り、人として生まれ、人に仕え続けられたのです。

### 「人間の弱さのためのキリストの究極の仕え」

では、キリストはどのような仕えをされたのでしょうか。聖書には、「多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるため」とあります。私たちが罪のゆえに裁きを受け、死後に受けるべき永遠の刑罰から救われるようにと、キリストがあなたの罪を背負い、身代わりとして十字架で死んでくださいました。その結果、あなたは死後、罪の刑罰を受けることなく、天国への道が備えられました。

確かにキリストは、死ぬために生まれたお方でした。もちろん、私たちも必ず死にますが、最初から

「死ぬため」に生まれてくる人はいません。しかしキリストは、人の罪の赦しのための供え物となるため、すなわち、十字架であなたの罪を背負い、死の罰を受けるために生まれたのです。これによって、あなたには赦しの道が備えられました。

### 「キリストの生まれや死は、偶然ではなく神の計画」

キリストの生まれや死については、旧約聖書にすでに予告されていました。

イザヤ書 53：5「しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために碎かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、

6 私たちは癒やされた。私たちはみな、羊のようにさまよい、それぞれ自分勝手な道に向かって行った。しかし、主は私たちすべての者の咎を、彼に負わせた。」

ここで語られているのは、イエス様が生まれる約750年も前に書かれた言葉です。そこには、イエス様がどれほどの苦しみを受け、私たちの罪を代わりに背負ってくださるかが、驚くほど正確に予告されていました。

イエス様の歩みは、突然始まったものではありません。何百年も前から約束されていたことが、一つひとつ現実になったのです。聖書はただの本ではありません。300 以上もの予告がすべて現実になったという事実は、この世界を造り、今も動かしているまことの神様が実在することを示しています。

聖書は、神様の計画がどのように実現したかを伝える歴史の記録であり、それ以上に、私たちの歴史そのものを創り出しているお方の姿を映し出しています。無理に信じようとしなくても大丈夫です。まずは、この不思議な歴史の事実、心を留めてみませんか。

### 「永遠のための賢い選択」

『パンセ』の著者として知られるパスカルは、数学や物理の世界で偉大な功績を残した天才ですが、実はとても熱心なクリスチャンでもありました。

彼は「イエス様を信じることは、人生で一番賢い選択だ」ということを、得意の数学（確率論）を使って説明しています。

もし「神様なんていない」と思って生きていて、死んだ後に本当はいたとわかったら、それは取り返しのない大失敗になります。逆に、信じて生きていれば、もし神様がいなかったとしても失うものは何也没有什么。「信じない」という選択は、いわば 50% の確率で、人生をギャンブルにかけているようなものです。大切な命の問題において、そんな不確かな賭けをするよりも、信じて生きる方がずっと安全で確実な選択なのです。

イエス様が生まれたばかりのとき、神殿で幼子イエスに出会ったシメオンという人について、聖書は次のように記しています。

ルカの福音書 2:28 シメオンは幼子を腕に抱き、神をほめたたえて言った。

29 「主よ。今こそあなたは、おことばどおり、しもべを安らかに去らせてくださいます。

30 私の目が、あなたの御救いを見たからです。

31 あなたが万民の前に備えられた救いを。」

ここでシメオンは、イエス様を「万民の前に備えられた救い(31 節)」と告白しています。そして、「私の目が御救いを見た(30 節)」から「安らかに去

らせてください(29 節)」と語りました。彼は、救い主イエス様に出会ってから、この世を安らかに去ることができたのです。

私は、皆さんにも心から勧めたいと思います。皆さんの目がこの救いを見、救いを得てから、この世を去るようにしてください。それまでは、死なないで（笑う）、無関心にならないでください。

しかし、悪魔は今も皆さんにささやきます。「神はいない」、「死後の世界もない」、「今のままでいい」と。その声に惑わされないでください。悪魔は、あなたの人生に何の責任も取りません。むしろ、あなたが永遠の刑罰に陥ることを喜ぶのです。

### 「人間の力（善い行い等）による不可能な救い」

一般的に、宗教といえば「人間が神のために努力や善行を積み重ねるもの」と考えられがちです。しかし、キリスト教は違います。人間がどれほど努力しても、自分自身の力で完全に正しく生きることは難しく、どうしても罪を重ねてしまうからです。

一般的な考えでは、「人間が神様のために何かを捧げ、善い行いをしてこそ救われる」と思われがち

です。しかし、キリスト教の教えはまったく逆です。人間がどれほど努力しても、完全に正しく生きることとはできず、むしろ罪を重ねてしまうのが現実だからです。つまり、人間自らの力による救いには、希望がありません。

そこで、神様であるイエス様が、私たちの身代わりとなって十字架にかかり、私たちのすべての罪を背負って死んでくださいました。私たちが自分の力で到達できない「救い」を、イエス様がその命をかけて完成させてくださったのです。この「身代わりの愛」によって、私たちは自分の行いに関係なく、ただ信じるだけで「確実な救い」という最高のプレゼントをいただくことができます。

エペソ人への手紙 2:8 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。

9 行いによるものではありません。だれも誇るものがないためです。

驚くべきことに、上記の 8 節の最後には、救いは「賜物」と書かれています。ここにある「賜物（たまもの）」とは、神様からのプレゼントという意味です。救いは、私たちの「行い」による報酬ではな



く、神様の「愛」による無償の贈り物なのです。もし、行いの善し悪しで判断されたとしたら、私たちは、救いよりも刑罰に近い存在であるに違いないでしょう。しかし、イエス様の十字架があるからこそ、私たちは確実な救いを手にできるのです。

### 「キリストにより与えられる確実な救い」

前述のとおり、人間は自分の力だけで救いに到達することはできません。私たちの内から生じるのは、善い行いによる救いではなく、むしろ罪や悪に対する厳しい裁きに値するものだからです。

しかし神は、このような人間のために、御子キリストを私たちの身代わりとして十字架にかけ、救いへの道を拓いてくださいました。人間が決して解決できなかった「罪」という問題を、キリストが十字架の上ですべて成し遂げてくださったのです。この「身代わりの犠牲」こそが、私たちの救いの根拠です。キリストが、救いに必要な条件をすべて満たしてくださいました。

私たちは、この十字架の死が自分のためであったと認め、イエス様を救い主として受け入れることで、

自力では不可能だった救いを受けることができるのです。そのイエス様は、自分の目では見ることができませんが、祈りを通してその方に出会い、救いを得ることができます。

ヨハネの福音書 1:12 しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとなる特権をお与えになった。

イエス様を受け入れ、信じる人は、神様の子どもになるという約束があります。もしあなたが、イエス様を人生の救い主として心に招き入れるなら、あなたは救いを得て、神様の子どもとして迎えられます。そして、神様がいつもあなたとともにいて、これからの人生をずっと守り、助けてくださるのです。そんな新しい歩みが、ここから始まります。

**「今、この救いを受け取りませんか」**

かつてシメオンという老人が、幼子イエスに出会い、神の救いを見て心からの安らぎを得たように、あなたもこの救い主に出会ってみませんか。

この救いは、他の誰でもない「あなた」のために用意された贈り物です。あなたが今日、イエス様を

救い主として受け入れ、本当の平安に満ちた人生を歩み出されることを切に願っています。もし、今その一步を踏み出したいと思われるなら、どうぞ、次の言葉を声に出して読みながら祈ってください。

### 「イエス様を受け入れるお祈り」

イエス様、私は、自分が罪を犯すしかない人間であることを認め、告白します。

そして、この罪こそが、私の人生の破壊と滅びの原因であることが分かりました。しかし、自分ではこの罪の問題を解決する力がないことにも気づきました。

そのような私のために、愛に満ちたイエス様が、私の罪を背負い、身代わりとして十字架で死んでくださり、私が罪から赦される道を備えてくださったことを感謝します。

私は今、イエス様を救い主として心に受け入れます。どうぞ、私の心の中にお入りください。そして、愛と力をもって、私の人生を導いてください。

イエス様のみ名によって祈ります。アーメン。

## あなたの救いのためのキリストの尊い仕え

2025 年 12 月

著者 姜 錫在 (カン スッチェ)

JOY CHURCH 牧師

発行 日本国際宣教会(ENM)

〒812-0053 福岡市博多区東公園四の五 (JOY CHURCH)

Tel : 092(643)5534 Fax : 092(643)5536

E-mail : joyskan@gmail.com

ホームページ : <http://www.joychurch.jp>